

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜5番丁62-1
四国医療専門学校 作業療法学会内
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

No Challenge , No Success! (挑戦無くして、成功無し!)

松井病院 田埜 篤司

2017年1月21日(現地時間20日)。ドナルド・J・トランプ氏が、アメリカ合衆国の第45代大統領に就任した。大統領選勝利後より続く反トランプ派のデモ活動は異常事態で、これほどまで国民から批判されたアメリカ大統領は過去居ない。しかし、トランプ氏は本当に批判されるべき人物なのだろうか？

確かに、トランプ氏の過激で横暴な言動は理解し難い所もあり、70歳の対応とは思えぬ『Twitter』を駆使した斬新な選挙活動は世界を驚かせている。また、過去の政権が行った政策への批判や方針転換は、トランプ氏の大きな“Challenge(挑戦)”とも思える。そして、この姿勢を共感・支持している国民が存在するのも事実である。

過激な発言は別として、“挑戦”することは、我々も見習うべきであると感じる。新しい事に対して、自らどんどんと突き進んでいく人は少ない。それは「経験が無く、結果に対する漠然とした不安」や、「周囲の反応や失敗に対する恐怖心」などがあるからだろう。他人と違ったことをやるには、大きな勇気が必要だ。

しかし、歴史を振り返るとみんな勇気を出して新しい挑戦をした結果で、現在の社会がある。作業療法士の先駆者達も、みんなそうだった。自分達の道は、自分達で切り開いていくしかないのだ。

最近、テレビCMで『ひとりの商人、無数の使命』という、某企業のスローガンを目にした。この言葉は、今の我々にも通じるものだと感じた。

我々作業療法士のフィールドは、病院・施設から地域への拡大が求められている。これは正に『ひとりの療法士、無数の使命』である。新たなフィールドでの新しい挑戦が、今後の道を切り開くことに繋がる。トランプ氏も、それを実現しようとしているのではないだろうか？

さて、私を含め県士会員のこれからと、アメリカの行く末を楽しみにしながら、今回の筆(?)を置く事としよう。それぞれの“成功”を願って…。



先輩の声

No.24 かがわ総合リハビリテーションセンター

馬場 広志

(9年目)



OTになって、9年目が終わろうとしています。思えばこれまでの間に何人の人と出会ったでしょうか。学生時代、授業や実習を通してOTの仕事への興味も膨らみ、ボランティア活動を通して対象者と関わるイメージを膨らませた日々。OTになって初めの就職では、東京の初台リハビリテーション病院で勤務し、回復期病棟でリハビリ職の基本を学びながら、リハビリ、ケア、看護の境に悩み、同僚達と作業療法について語り合った日々。今では臨床場面で対象者と向き合うことや、職場の上司、同僚から学び、県士会学術部の研修会企画運営や学会運営に携わらせて頂き、たくさんの職場の方と交流できることで新たな発見やOTの仕事の楽しさ、可能性を感じながら日々を送る事ができています。

職場だけでなく、研修会、県士会活動などを通してたくさんの出会い、学びがあり成長していけると感じています。1年目の方でも、目の前の対象者に向き合うことはもちろんのこと、早い時期から職場以外のOTともひとつのミッションをこなしていくことは大きな経験になるのではと思います。

米国における、ある分析では「IT化によって仕事が失われることはない」と考えられる職業の「第6位」に、OTが位置しているようです。「人の心に働きかける」職業や、常に最先端の技術を扱う職種がランクインしているようです。OTの仕事が淘汰されないよう危機感をもって活動しながらも、作業療法という素敵なものを多くの対象者へ提供できるよう、職場での仕事、先輩の方々が築いてきた県士会やOT協会活動を通して、よりOTの活躍の場が広がるよう頑張っていきたいと思います。

OT協会、県士会へ入会し所属しているだけでも、組織の一員としてOTの職域拡大や社会に貢献できていると思います。この記事に目を通しての方は、県士会員ではありますが、もし周りに非会員、入り方が分からずにいる方などおりましたら、是非ともお声かけ頂き、日本においても、より必要とされる仕事として認識されるよう協力していきましょう。



認定作業療法士を取得しました



氏名：多田 晃平

所属：総合病院 回生病院

経験年数：11年目

認定作業療法士を目指した理由：

作業療法士としてのスキルアップ、また、自分に常に何か目標をもちながら患者さんへの治療に励みたいと思い、認定作業療法士を目指しました。

これから目指す方へ：

いくつかのハードルをクリアしていく過程が作業療法士としての能力を高めてくれ、また、研修にて講師や受講者の人との出会いが、人としての経験値も高めてくれます。是非、取得を目指してみてください。



氏名：三木 聖子

所属：総合病院 回生病院

経験年数：13年目

認定作業療法士を目指した理由：

自分の目標である認定ハンドセラピストを目指すためのファーストステップとして、まずは目の前の課題から一歩ずつという思いで認定作業療法士を取得しました。

これから目指す方へ：

課題の達成には時間も根気も必要でしたが、周囲とのかかわりの中で、新しい発見があったり、次の目標を見つけたりと自分にとってとてもプラスになるものでした。これからどんどん香川県の認定作業療法士仲間が増えていくことを期待しています。



氏名：播磨 嘉美

所属：総合病院 回生病院

経験年数：6年目

認定作業療法士を目指した理由：

地域連携が重要視される中で他部門や他職種、対象者の方が作業療法士の職務への認知度や理解が少ない事を痛感し、連携や社会資源の利用と研究能力向上に興味を持ち目指しました。

これから目指す方へ：

研修内容はどれも臨床現場で直ぐに役立つものばかりでした。また、他病院や施設などさまざまな環境で働く OT とのディスカッションも行え、地域の全体像や地域における作業療法士の役割を具体的に知る機会となり、広い視野からの役割を意識できるようになりました。

「第9回カーフリーデー高松」参加報告

副会長 前田 悠志

日程：平成 28 年 9 月 18 日（日）

場所：高松市内、美術館通り（歩行者天国）

内容：一般の方に向けた作業療法普及啓発活動

近年、（一社）香川県作業療法士会（以下、当会）による一般の方へ向けた啓発活動が増えています。定款にも謳っている「作業療法普及発展と県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与する」にかなった事業展開を続けています。

今回は新しく「第9回カーフリーデー高松」というイベントに参加しました。マイカーにおいて、自転車や公共交通機関を使って都市における環境を考えましょうというイベントですが、近年は一般参加者の関心の高さから上記に加え「健康」という視点からも企画ブースがあがっています。県 PT 士会も参加していることもあり、今年は当会への参加の打診があって今回ブースを出すこととなりました。

作業療法士が考える健康や介護予防を主眼に、「脳年齢チェック」「自助具紹介、体験」「握力測定」「高齢者体験」「作業療法紹介、相談コーナー」などを行いました。あいにくの小雨の中でしたが、延べ 600 名を超える参加をいただきました。福祉フェアのような関係団体ばかりのイベントではなく、バス会社、お菓子屋さん、クリニック、ボランティア団体など様々な業種の中での参加は新鮮で、多くの方に作業療法を知っていただけたのではないかと思います。

最後になりましたが、作業療法の広報、啓発イベントが続く中お手伝いいただいた理事、広報部員の皆様ご協力ありがとうございました。



多職種の方へ向けた 「福祉用具研修会」の取り組みについて (第2弾)

四国医療専門学校 山川 公彦

(一社)香川県作業療法士会では、香川県介護人材確保事業の補助金交付を受け、介護分野へ関わる方に対し「福祉用具研修会」を開催しております。後半のテーマは移動用補助具について、認知症の方に対する福祉用具・支援方法、ベッド周辺機器となり、東讃・西讃に分け4回実施しました。

移動用補助具では、最新の歩行器及び歩行車の紹介、使用方法について体験していただきました。見慣れた機器ではありますが、改めて使い方や注意点を認識していただけたようです。認知症の方に対する福祉用具・支援方法では、徘徊センサーマットや最近よくテレビで宣伝されている転倒を予防する新機能車いす「転ばないイス」を体験していただきました。認知症に対応できる福祉用具となると数が限られますので、リスク管理についても含めて伝達させていただきました。

私がこの事業に関わり2年目ではありますが、本会が運営する「福祉用具研修会」も認知度が高まり多くの方に参加していただきました。対象者のみではなく介護者に対しても支援する必要性を感じ、今後も継続していきたいと思っています。



連載企画4 第二弾

「地域包括ケアシステム 構築における作業療法士の役割」

第2話

株式会社 創心會

執行役員 若林 佳樹

前回お伝えさせて頂いた通り、第2回目では地域ケア会議についてご紹介させていただきます。

地域ケア会議は高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めて行く、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法として位置付けられています。

地域ケア会議では、個別ケースの検討と地域課題の検討の両方を行うことで早期に様々な個別・地域の課題を可視化して、行政、事業所、専門職、住民が一体となってその地域の医療・介護の課題に取り組むこととなります。

多くの作業療法士は個別ケースの検討に関わることが多いです。その中で、地域ケア会議における作業療法士の役割は、生活課題の解決です。ADL、IADL の能力評価を行い、自立を妨げている要因を解決できる自立支援の内容を助言していくことです。

香川県で地域ケア会議に参加している作業療法士はまだ少ないのが現状です。地域包括ケアシステム構築において、地域ケア会議は非常に重要になります。これから各都道府県で地域包括ケアに向けた研修会が実施されていきますので、ぜひご参加くださいますよう、よろしくお願い致します。

第3回目では、地域ケア会議とも関連がある総合事業に関してご紹介させて頂きたいと思います。

※JAOT2016年10月号に地域ケア会議の特集記事があります。
ぜひご一読ください。



No.12 病院紹介



栗林病院

当院は国の特別名勝に指定されている「栗林公園」から近く、コトデン栗林公園駅から徒歩1分の場所に立地している総合病院です。社会保険 栗林病院として60年余りの歴史があり、平成26年4月には組織が移行し、独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) りつりん病院とし新たな出発をしました。

現在リハビリテーション部門には PT11名 OT6名 ST2名、今年4月には新しいスタッフが加わる予定です。OTは急性期から回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟、外来に渡り途切れなく、PT・ST部門と協力しトータルなりハビリ治療を提供しています。患者様一人ひとりの病気や病状に最も適したサービスを提供できるよう、患者様やご家族を中心に医師、看護師、医療ソーシャルワーカーと連携しながら各療法士が専門的かつ、質の高いリハビリを心がけています。地域連携も務め、病気障害があっても住み慣れた家で、自分らしく暮らしたいという一人ひとりの思いを大切にしています。



新人奮闘記!

～新人OTだから語れる素直な気持ち～

No.7

永生病院 高橋 知里

私は当院の介護療養型病棟にて主に高齢の患者様に関わらせて頂いています。

介護療養型病棟でのリハビリは、身体機能面の維持だけでなく生活面や精神面等、様々な視点から変化する患者様の状態に合わせ、実際の生活場面でリハビリを行うため、対応や治療を考えることは難しく日々勉強しています。

まだまだ未熟ではありますが、これから私も患者様の目標に向けたお手伝い出来るよう日々精進していきます。



No.8

滝宮総合病院 金崎 彩香

私の作業療法士としての目標は「常に笑顔を忘れず、患者様と信頼関係を築ける作業療法士になる」ことでした。その目標の中で、約10ヶ月、臨床にたたせていただきましたが、患者様と互いに信じ合いリハビリを行っていくことの大変さや、治療経過を追っていくことの難しさなどを感じました。しかし、その中でも患者様から教えていただくことも多くあり、感動することもありました。

まだまだ、未熟者で患者様や先輩方にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、精進できるように今後も頑張っていきたいと思っています。

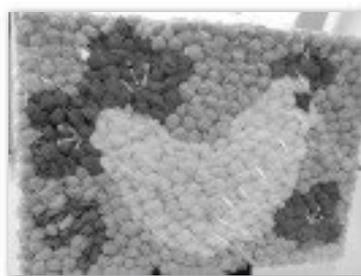


作品紹介

介護老人保健施設 コリーナ 井上 千代美

お花紙アート

この作品は、お花紙を丸めて下絵を描いた台紙に貼っていく事でできた作品です。丸めて貼るというシンプルな工程なので、誰でも気軽に取り組む事ができます。「お団子みたいに丸めて」と言うと皆さん慣れた手つきで丸めてくれました。丸めるだけですが、その丸め方に個性が表れ（きっちり丸める方、ふんわり丸める方などなど）一人一人違った雰囲気になるので面白いですよ。



布アート

この作品は、約2四方にピンキングバサミで切った布を、下絵を描いた発泡スチロールの台紙に竹串で刺していく事でできた作品です。発砲スチロールに刺すのであまり力が必要でなくこれも誰でも気軽に取り組む事ができます。紙とは違った風合いが楽しめます。



折り鶴アート

この作品は、折り鶴で富士山を表現した作品です。馴染みのある折り鶴を使って何か大作を作りたいと思い始めました。毎日コツコツ折り続け時間はかかりましたが、なかなか見応えのある作品に仕上がりました。時間がかかった分ご利用者様の達成感も大きく、周囲からも大好評でした。



学術研修会開催報告

■ 平成 28 年度 第 2 回学術研修会開催報告

田村クリニック 大矢 浩司

2016 年 10 月 30 日（日）にサンメッセ香川中会議室にて第 2 回学術研修会を開催しました。昨年大好評につき、今年も茨城県立医療大学作業療法学科教授の齋藤さわ子先生をお招きし、『作業を基盤とした評価の意義と実際～作業遂行観察の基本技術を身に着けよう～』というテーマで、さらに深化した内容の充実した研修会を開催することができました。参加者は総勢 48 名で、広島や岡山など県外の方も沢山参加されていました。これからも香川県作業療法士会の会員の皆様に臨床で役立つ研修会を開催出来るよう、部員一同頑張っていきたいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。



■ 平成 28 年度 第 3 回学術研修会開催報告

しおかぜ病院 桑崎 裕矢

2016 年 12 月 11 日（日）にユープラザうたづにて第 3 回学術研修会を開催しました。岡山県精神科医療センターの赤澤先生、上田先生をお招きし、『岡山県精神科医療センターにおける作業療法士の役割～急性期から地域まで～』というテーマで多職種チームの構成員として作業療法士がどのような役割を担っているのかや、プログラム運営の実際、症例の紹介などを交えた充実した内容の研修会となりました。今回ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。今後も臨床に役立つ、参加して良かったと思えるような研修会を開催したいと思いますのでよろしくお願い致します。



勉 強 会 案 内

呼吸・循環のリハビリテーション 全6回コース

【内容】 呼吸と循環の基礎的な生理学を学びながら、呼吸と循環に関連する、筋肉、及び関節へのアプローチ法や運動療法の実践を学ぶ。

【日時】 2017年3/12(日)、4/2(日)、6/4(日)、7/30(日)、8/27(日)、10/15(日) 10:30-16:30

【会場】 公益財団法人かがわ健康福祉機構 第一研修室

【受講費】 各回7500円(全コース受講の場合、39000円)

【定員】 25人 先着順

【詳細・申込】 「リハビリテーション臨床能力を高める勉強会」ホームページをご覧ください。

体位変換と移乗動作－症例に合わせた介助法の選択と後輩指導のポイント－

【内容】 “攻め”の体位変換による治療アプローチと基本戦略・症例別トランスファーの実際

【日時】 2017年3/25(土) 14:00-19:40、3/26(日) 10:00-16:10

【会場】 高松市総合福祉会館

【受講費】 各講座1回 一般8400円 会員7200円

【定員】 先着順

【詳細・申込】 「日本離床研究会」ホームページ上にてお申込みください。

セラピストの栄養学 in 高松

【内容】 ①栄養学について ②サルコペニアとフレイル、地域との関わり的重要性 ③栄養評価方法 ④血液データの診かた ⑤疾患別アプローチ。リハビリでの負荷量、プログラムの組み方 ⑤嚥下障害と栄養

【日時】 2017年3/26(日) 9:30-15:30

【会場】 香川県社会福祉総合センター

【受講費】 10000円

【定員】 40名 先着順

【詳細・申込】 「リハビリ看護栄養研究会」ホームページ上にてお申込みください。

頸椎疾患の評価と治療

【内容】 AM:『肩関節の評価から治療まで』 PM:『頸椎疾患の評価と治療』

【日時】 2017年3/26(日) AM:10:00-12:30 PM:13:30-16:00

【会場】 香川県社会福祉総合センター

【受講費】 AM:5000円 PM:5000円(1日を通しての受講:8000円)

【定員】 30名(先着順)

【詳細・申込】 「リハビリ看護栄養研究会」ホームページ上にてお申込みください。

重要：会費未納者への県士会の対応

会長 植野 英一

平成 29 年 1 月 30 日の平成 28 年度第 8 回理事会において「会費未納者への県士会の対応」として以下に承認された。ほとんどの会員は納入期限までに納入いただいている。会費納入は当然のことであるが、会費未納者にとってはラストチャンスとなるため、会員におかれては留意していただき知り合いの会員への周知をお願いしたい。また自身についても「うっかりしていた」「払ったつもりでいた」ということのないよう、振り込み時の証明書等を保管しておいていただきたい。

承認された内容

「会費未納者への県士会の対応」

- 1、2 年間年会費未納であれば 3 年目は退会扱いとなる。
- 2、再入会を希望する場合は、未納年度分の年会費と当該年度の年会費を納入し確認が取れた後「会員」扱いとなる。
- 3、平成 29 年 1 月 30 日理事会承認後から適応となる。

以上

- (例 1) 平成 28 年度会費未納者は、平成 28 年度会費と平成 29 年度会費を平成 29 年度中に納入しなければ退会となる。

平成 28 年度	平成 29 年度	
会費未納	会費未納	平成 30 年 3 月 31 日付けで退会

- (例 2) 複数年度会費未納者は、未納年度会費と平成 29 年度会費を平成 29 年度中に納入しなければ退会となる。0 年度以降は 3 年以上の滞納者は平成 30 年 3 月 31 日で退会になるため今回だけの特例となる。平成 3

平成 26、27、28 年度	平成 29 年度	
会費未納	会費未納	平成 30 年 3 月 31 日付けで退会

- (例 3) 平成 28 年度会費と平成 29 年度会費を平成 29 年度中に納入すれば会員として所属できる。

平成 28 年度	平成 29 年度	会員として所属
会費未納	未納年度と当該年度会費納入	

上記内容に至った背景や理由

- 1) 現在の未納者への対応は事務局や理事が会費納入の催促の連絡をしている。近年、一部の会員は納入期限を過ぎて納入したり、連絡があるまで納入しない、忘れていたケースが相次いでいる。それに伴い事務局業務の負担増となっている。中には複数年納入していない会員がいる。
- 2) 所属施設を異動したり、県外へ移ること等は、事務局へ届けを提出することが決まっている。一部の会員は届け出をせずに異動し、当該年度の会費を払わないまま連絡が取れなくなっている。これについては催促の連絡の仕様がなく回収できない事態となっている。
- 3) 県士会の収入のほとんどが、会員からの会費で賄われている。春の総会承認後、円滑な事業展開を行うには滞りのない会費納入は必須となっている。会員の技術向上や学術研鑽のため、県民への作業療法啓発のため、県民の保健・医療・福祉の充実や向上に寄与するための事業の費用を一部の未納者によって遅れや停滞があってはいけないことである。

*異動や入退会など各種変更については、県士会ホームページからダウンロードができるので記載し、県士会事務局までお送りいただきたい。また、(一社)日本作業療法士協会への変更届けは協会の届け出用紙に別途記載し、各自が協会事務局へ届け出るようお願いしたい。

*問合せ先：(一社)香川県作業療法士会 事務局 四国医療専門学校作業療法学科内
〒769-0205 綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1 TEL (0877) 41-2330 FAX (0877) 41-2332

New!

リレーエッセイ1

医療法人社団 里仁会 瀬戸内クリニック 森近友紀子

当施設は、2001年にクリニックと併設し、丸亀市に開設されました。私がこのデイケア施設で働きはじめ、2年が過ぎようとしています。以前は回復期で働いていましたが、退院した後の患者様の生活を支えていきたいと思い、生活期で働くことを決めました。

デイケアで働きはじめ、通所利用者様の重度・高齢化に伴い、高齢者の特性をよく理解することも重要であることを実感しました。利用者様の言葉だけでなく、表情や行動にも気を配り、その時のメンタルや体調に合わせて関わっていければと思います。

大学を卒業する時、“患者様・利用者様に笑顔・パワーを与えられるOTになりたい”と決意しました。その決意は今も変わらず、これからも知識の提供だけでなく、心も元気にできるようなOTを目指していきたいと思っています。



入会 和田 悠 (橋本病院)
入倉 浩昭 (五色台病院)
白井 智大 (赤沢病院)

異動 介護老人保健施設城山苑 (中野良治)→永井整形外科医院
五色台病院 (小早川陽子)→坂出メンタルクリニック
五色台病院 (玉井千津子)→自宅
檜村病院デイケアセンター (後藤真紀)→自宅
細川 啓太 (橋本病院)→自宅
澤井 亮介 (三宅リハビリテーション病院)→自宅
多田裕次郎 (おさか脳神経外科)→高松赤十字病院
上所 美穂 (岩本病院)→林内科呼吸器科病院
後藤 真紀 (かしむら病院デイケアセンター)→自宅
大嶋 祐輝 (麻田総合病院)→看護小規模多機能型居宅介護 然

退会 岩田 恵里 (松井病院)→岡山へ異動
下中 源衛 (介護老人保健施設 五色台)
広瀬 恵理 (自宅)
船橋 圭 (高松協同病院)

■(一社)香川県作業療法士会ニュース No.70■

編集長：木村勇介 編集委員：松永智香・山崎悠加・山岡亜裕美・高橋真理・善相原健史・瀬知杏奈・安藤瑞基・管田未佳・真鍋奈菜・水口未紅・鎌田雄大・高橋優里